

令和2年度 若者の政治意識アンケート調査結果（概要）

調査の概要

【調査目的】

若者の政治や選挙への意識を把握し、今後の啓発や主権者教育に活かすことを目的とする。

【調査方法】

- (1) 調査主体：宮崎県選挙管理委員会
- (2) 調査方法：LINE リサーチ プラットフォームを利用した調査
(※ LINE リサーチについて <https://www.linebiz.com/jp/service/line-research/>)
- (3) 調査対象：宮崎県在住の15歳～39歳（有権者でない者を含む）
- (4) 有効回答数：919サンプル（男性394名、女性525名）
(※回収目標数：1000サンプル（5歳階層別・男女別で100ずつ）)
- (5) 調査時期：令和2年9月4日（金）～9月9日（水）
- (6) 設問の概要（全15問・選択式）

政治 関心	問1	時事問題への関心の有無
	問2	時事問題で関心のある分野
	問3	時事問題の情報入手手段
投票 行動	問4	これまでの投票頻度
	問5	投票に行く一番の理由
	問6	投票において重視する内容
	問7	投票に行かない一番の理由
	問8	投票に行かない一番の理由が解決した場合の投票行動
	問9	当てはまる経験等
	問10	投票の際に参考とした情報等
主権者 教育	問11	政治や選挙について学校で学んだこと
	問12	学校で学んだ効果
啓発 ニーズ	問13	時事問題の学習機会で利用したいもの
個人 活動等	問14	普段の活動等
	問15	趣味

【留意事項】

- ①集計結果の割合は、その設問の回答数を基数として、小数点以下第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ②複数回答形式の場合、回答割合の合計は100%を超える場合がある。
- ③「n」とは、その設問への回答者数を表す。

調査結果（属性）

【回答者（属性）】

①性年代（5歳刻み）

年齢	男性	女性	計
15～19歳	100	105	205
20～24歳	72	105	177
25～29歳	56	105	161
30～34歳	68	105	173
35～39歳	98	105	203
計	394	525	919

②未婚・既婚

性別	年齢	未婚	既婚	離別	計
男	15～19歳	100	0	0	100
	20～24歳	71	1	0	72
	25～29歳	44	11	1	56
	30～34歳	26	37	5	68
	35～39歳	25	60	13	98
	小計	266	109	19	394
女	15～19歳	105	0	0	105
	20～24歳	98	5	2	105
	25～29歳	74	25	6	105
	30～34歳	41	59	5	105
	35～39歳	25	67	13	105
	小計	343	156	26	525
計		609	265	45	919

③職業

性別	年齢	公務員	経営者/ 役員	会社員 (事務系)	会社員 (技術系)	会社員 (その他)	自営業	自由業	専業主婦 (主夫)	パート/ アルバイト	学生	その他	計
男	15～19歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	97	1	100
	20～24歳	6	0	4	4	2	1	1	0	3	47	4	72
	25～29歳	8	1	5	7	13	2	0	0	6	8	6	56
	30～34歳	14	0	10	14	17	5	0	0	0	2	6	68
	35～39歳	12	2	6	30	25	12	0	0	4	1	6	98
	小計	41	3	25	56	57	20	1	0	13	155	23	394
女	15～19歳	0	0	1	2	2	0	0	0	2	97	1	105
	20～24歳	2	0	8	9	18	0	1	0	8	50	9	105
	25～29歳	10	0	15	11	18	2	1	11	18	10	9	105
	30～34歳	6	0	12	8	17	2	0	24	32	0	4	105
	35～39歳	5	1	14	6	24	2	0	15	30	0	8	105
	小計	23	1	50	36	79	6	2	50	90	157	31	525
計		64	4	75	92	136	26	3	50	103	312	54	919

調査結果（概要）

【問1】

あなたは、時事問題（テレビや新聞などで話題になっていること）に関心がありますか。（全員／いずれか一つ） n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①ある	383	41.7
②少しある	386	42.0
③あまりない	102	11.1
④まったくない	48	5.2

- 時事問題への関心の有無は、「①ある（41.7%）」、「②少しある（42.0%）」、「③あまりない（11.1%）」、「④まったくない（5.2%）」であった。

【問2】

以下の時事問題のうち、どの分野の話題に関心がありますか？

（問1で①～③（時事問題に全く関心がない以外）を選んだ人／複数回答） n=871

選択肢	回答数	割合(%)
①医療・介護問題	427	49.0
②子育て・教育支援	402	46.2
③景気・雇用対策	393	45.1
④国等の財政再建	138	15.8
⑤年金問題・税制度（消費税など）	351	40.3
⑥エネルギー政策・自然環境保全	115	13.2
⑦外交・防衛問題	154	17.7
⑧防災対策	217	24.9
⑨社会資本整備（インフラ）	84	9.6
⑩地域振興・地方創生	155	17.8
⑪人口減少社会	93	10.7
⑫感染症対策	388	44.5
⑬IT（情報技術）・AI（人工知能）関係	168	19.3
⑭格差社会	104	11.9
⑮その他	6	0.7
⑯特に興味のある分野はない	56	6.4

- 時事問題のうち関心のある分野は、日常生活に関連性のある、「①医療・介護問題（49.0%）」、「②子育て・教育支援（46.2%）」、「③景気・雇用対策（45.1%）」、「⑫感染症対策（44.5%）」が高い。

【問3】

あなたは、政治や社会に関する時事問題について、何で情報を入手しますか。
 (問1で①～③(時事問題に全く関心がない以外)を選んだ人/複数回答) n=871

選択肢	回答数	割合(%)
①テレビ番組	740	85.0
②ラジオ番組	107	12.3
③新聞	163	18.7
④雑誌	46	5.3
⑤インターネットのニュースサイト (Yahoo ニュースなど)	657	75.4
⑥インターネットのニュース動画・番組 (YouTube など)	201	23.1
⑦ツイッター・フェイスブックなどのSNS	314	36.1
⑧インターネットの掲示板・まとめサイト	95	10.9
⑨家族や知人など身近な人との会話	217	24.9
⑩その他	1	0.1

- 時事問題の情報入手手段は、「①テレビ番組 (85.0%)」、「⑤インターネットのニュースサイト (75.4%)」が高く、次いで「⑦ツイッター・フェイスブックなどのSNS (36.1%)」が高かった。

【問4】

あなたは、これまでの選挙でどの程度投票していますか。
 (全員/いずれか一つ) n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①毎回投票している	190	20.7
②できるだけ投票している	268	29.2
③あまり投票していない	163	17.7
④投票したことがない	113	12.3
⑤まだ選挙権がない (これまで選挙権がなかった)	153	16.6
⑥答えたくない	32	3.5

- これまでの投票頻度は、「①毎回投票している (20.7%)」、「②できるだけ投票している (29.2%)」、「③あまり投票していない (17.7%)」、「④投票したことがない (12.3%)」、「⑤まだ選挙権がない (これまで選挙権がなかった) (16.6%)」、「⑥答えたくない (3.5%)」であった。

【問5】

あなたが投票に行く一番の理由は何ですか。

※まだ選挙権がない人も、投票に行くとしたらでお考えください。

(問4で「①毎回投票している」、「②できるだけ投票している」、「⑤まだ選挙権がない(これまで選挙権がなかった)」を選んだ人/いずれか一つ) n=611

選択肢	回答数	割合(%)
①政治や社会問題に関心があるから	137	22.4
②応援している候補者や政党があるから	28	4.6
③投票は義務のようなものだと思うから	293	48.0
④家族や友達などまわりの人が行くから	56	9.2
⑤投票に行くよう頼まれるから	18	2.9
⑥その他	8	1.3
⑦特にない/わからない	71	11.6

- 「③投票は義務のようなものだと思うから」が48.0%と最も高い。

【問6】

あなたは、何を最も重視して投票しますか。

※まだ選挙権がない人も、投票に行くとしたらでお考えください。

(問4で「①毎回投票している」、「②できるだけ投票している」、「⑤まだ選挙権がない(これまで選挙権がなかった)」を選んだ人/いずれか一つ) n=611

選択肢	回答数	割合(%)
①候補者の政策	281	46.0
②候補者の所属政党	66	10.8
③候補者の人柄や印象	152	24.9
④特に重視するものはない(その時の気分などで判断)	37	6.1
⑤その他	2	0.3
⑥特にない/わからない	73	11.9

- 投票において重視する内容は、「①候補者の政策(46.0%)」、「③候補者の人柄や印象(24.9%)」、「⑥特にない/わからない(11.9%)」、「②候補者の所属政党(10.8%)」、「④特に重視するものはない(6.1%)」、「⑤その他(0.3%)」の順で高かった。

【問7】

あなたが投票に行かない一番の理由は何ですか。
 ※まだ選挙権がない人も、行きたくないと思う理由があればお選びください。
 (問4で「③あまり投票しない」「④投票したことがない」「⑤まだ選挙権がない」を選んだ人/いずれか一つ) n=429

選択肢	回答数	割合(%)
①政治や社会に全く関心がないから	28	6.5
②投票しても政治や社会は変わらないと思うから	77	17.9
③投票したいと思う候補者や政党がないから	87	20.3
④投票所に行くのがめんどうだから	62	14.5
⑤投票したい時間に投票所が開いていないから	14	3.3
⑥いま住んでいるところに住民票がなく、投票できないから	41	9.6
⑦その他	13	3.0
⑧特にない/わからない	107	24.9

○ 投票に行かない一番の理由は、「⑧特にない/わからない (24.9%)」が最も高く、「③投票したいと思う候補者や政党がないから (20.3%)」、「②投票しても政治や社会は変わらないと思うから (17.9%)」、「④投票所に行くのがめんどうだから (14.5%)」、「⑥いま住んでいるところに住民票がなく、投票できないから (9.6%)」の順で高かった。

【問8】

あなたは先ほど選択した問題が解決すれば、投票しますか？(問7で①～⑦(特にない/わからない以外)を選んだ人/いずれか一つ) n=322

選択肢	回答数	割合(%)
①投票すると思う	210	65.2
②どちらともいえない	84	26.1
③投票しないと思う	28	8.7

○ 問7「投票に行かない一番の理由」の問題が解決した場合の投票行動については、「①投票すると思う (65.2%)」、「②どちらともいえない (26.1%)」、「③投票しないと思う (8.7%)」であった。

【問 9】

次の中で当てはまるものがあれば、すべて選んでください。(全員/複数回答)
n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①子どもの頃に保護者に連れられて投票所に行ったことがある	371	40.4
②家族と時事問題について話すことがある	407	44.3
③知人と時事問題について話すことがある	324	35.3
④日頃から新聞を読んでいる	116	12.6
⑤時事問題の本を読むことがある	62	6.7
⑥政治家や政党のSNS投稿（ツイッター・フェイスブックなど）を見る	153	16.6
⑦いずれも当てはまらない	206	22.4

- これまでに経験した内容は、「②家族と時事問題について話すことがある（44.3%）」、「①子どもの頃に保護者に連れられて投票所に行ったことがある（40.4%）」、「③知人と時事問題について話すことがある（35.3%）」の順に高かった。

【問 10】

選挙で投票する際に参考にした情報等があれば、すべて選んでください。
※投票したことがない人は、これまで見聞きしたことのある情報をすべて選んでください。(全員/複数回答) n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①選挙に関するテレビ・ラジオ番組、新聞・インターネットの記事	572	62.2
②選挙公報（各候補者の顔写真と公約をまとめた小新聞）	186	20.2
③政見放送（各候補者がテレビやラジオで公約等を訴える放送）	126	13.7
④選挙ポスターの掲示場	258	28.1
⑤候補者等の選挙カー	172	18.7
⑥候補者等の公約を記載したチラシ・はがき等	116	12.6
⑦候補者等の街頭演説・演説会	77	8.4
⑧候補者等のホームページやSNS（ツイッターやフェイスブックなど）	100	10.9
⑨ポータルマッチサイト（どの政党の政策に考えが近いか知るもの）	30	3.3
⑩各候補者等による公開討論会	34	3.7
⑪政党や候補者の評判（口コミ、ネット上の書き込み）	109	11.9
⑫家族や知人などの意見	220	23.9
⑬その他	1	0.1
⑭どれも参考にした（見聞きした）ことはない	159	17.3

- 投票の際に参考とした情報等は、「①選挙に関するテレビ・ラジオ番組、新聞・インターネットの記事（62.2%）」が最も高く、次いで「④選挙ポスターの掲示場（28.1%）」、「⑫家族や知人などの意見（23.9%）」、「②選挙公報（20.2%）」の順に高かった。

【問 11】

次のうち、あなたがこれまで学校で学んだことがあるものを、すべて選んでください。(全員/複数回答) n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①政治・選挙の歴史や意義	508	55.3
②政治・選挙の制度や仕組み	650	70.7
③選挙での投票方法	427	46.5
④政党・候補者の比較	122	13.3
⑤一つの時事問題について異なる(対立する)意見を比較する学習	158	17.2
⑥地域の課題などを題材にした話し合い	205	22.3
⑦架空の候補者や異なる政策等を題材にした模擬投票	68	7.4
⑧選挙の実際の候補者を題材にした模擬投票	57	6.2
⑨生徒会役員選挙等における演説会や投票の経験	346	37.6
⑩その他	8	0.9
⑪受けた記憶がない	121	13.2

- 学校で学んだことがあるものは、「②政治・選挙の制度や仕組み(70.7%)」が最も高く、次いで「①政治・選挙の歴史や意義(55.3%)」、「③選挙での投票方法(46.5%)」が高かった。

【問 12】

その学習は投票の際に役立ちましたか。

(問 11 で学んだことがあると答えた人/いずれか一つ) n=798

選択肢	回答数	割合(%)
①かなり役立った	65	8.1
②少しは役立った	302	37.8
③どちらともいえない	250	31.3
④あまり役立たなかった	86	10.8
⑤全く役立たなかった	32	4.0
⑥まだ投票したことがない	63	7.9

- 学校で学んだことが投票の際に役立ったかについては、「②少しは役立った(37.8%)」が最も高く、次いで「③どちらともいえない(31.3%)」が高かった。

【問 13】

政治や選挙、社会に関する時事問題に関する学習機会について、どのようなものであれば利用（参加）したいですか。（全員／複数回答）n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①芸能人・タレントのトークイベント	288	31.3
②専門家などによる講演会	162	17.6
③芸能人・タレントのトークのインターネット配信	187	20.3
④専門家などによる講演会のインターネット配信	122	13.3
⑤地域の人たちとの意見交換の場	76	8.3
⑥同年代の人たちとの意見交換の場	167	18.2
⑦少人数の学習会（複数回）	48	5.2
⑧職場や学校での出前講座	142	15.5
⑨詳しい解説のある冊子	120	13.1
⑩簡単なチラシ・パンフレット	178	19.4
⑪ホームページの特集記事	117	12.7
⑫YouTube など短時間の動画	245	26.7
⑬お祭りやイベントでの学習ブース・体験	77	8.4
⑭その他	2	0.2
⑮そもそも学習しようとは思わない	195	21.2

- 時事問題に関する学習機会の利用は、「①芸能人・タレントのトークイベント（31.3%）」が最も高く、次いで「⑫YouTube など短時間動画（26.7%）」、「⑮そもそも学習しようとは思わない（21.2%）」の順で高かった。

【問 14】

あなたは仕事（または学業）以外で、次のいずれかの活動をしていますか。（全員／複数回答）n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①趣味のサークルや部活動（職場内・学校内）	173	18.8
②趣味のサークル等（職場・学校以外）	108	11.8
③カルチャースクールやスポーツジムなどの利用	70	7.6
④通信教育などの在宅学習	50	5.4
⑤公開講座への参加	35	3.8
⑥自治会や消防団などの地域活動	44	4.8
⑦子どもの学校のPTA活動	70	7.6
⑧NPOやボランティアの構成メンバー等としての活動	16	1.7
⑨NPOやボランティアへの参加（災害支援・イベント等）	21	2.3
⑩特に何もしていない	518	56.4

- 仕事（学業）以外での活動状況について、「⑩特に何もしていない」が56.4%と最も高かった。

【問 15】

あなたの趣味について教えてください。

※1つの選択肢のうちいずれかに該当する場合は、その選択肢を選んでください。(全員/複数回答) n=919

選択肢	回答数	割合(%)
①スポーツ・運動・トレーニング	352	38.3
②映画鑑賞(映画館)	278	30.3
③ライブ参加・スポーツ観戦	217	23.6
④音楽会・美術鑑賞	215	23.4
⑤旅行・街歩き・グルメ	358	39.0
⑥ドライブ(行楽)・キャンプ・登山・アウトドア	250	27.2
⑦楽器演奏・カラオケ	237	25.8
⑧ガーデニング・DIY(日曜大工)	69	7.5
⑨映画鑑賞・音楽鑑賞(自宅)	349	38.0
⑩読書(漫画含む)	318	34.6
⑪パソコン・ゲーム	370	40.3
⑫料理・お菓子づくり・手芸等	209	22.7
⑬カメラ・SNS投稿	165	18.0
⑭その他	16	1.7
⑮趣味はない	59	6.4

- 趣味は「⑪パソコン・ゲーム(40.3%)」が最も高く、「⑤旅行・街歩き・グルメ(39.0%)」、「①スポーツ・運動・トレーニング(38.3%)」、「⑨映画・音楽鑑賞(自宅)(38.0%)」が高かった。